

令和7年度 沖縄県高等学校新人体育大会

第19回沖縄県高等学校新人ボウリング競技大会実施要項

主 催 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会

後 援 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・NHK沖縄放送局・琉球新報社・沖縄タイムス社・琉球放送株式会社
株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社・琉球朝日放送株式会社

主 管 沖縄県高等学校体育連盟ボウリング競技専門部・沖縄県ボウリング連盟

1. 期 日 (1) 開始式 令和7年10月27日(月) 午前9時05分
(2) 競 技 令和7年10月27日(月) ※選手受付は午前8時30分～9時00分までに済ませること

2. 会 場 エナジックボウルサザン(南風原町)

3. 競技規定 (公財) JAPAN BOWLING 競技規則並びに諸規定、および本大会規定による。

4. 競技種目

- (1) 個人戦(男女別)
(2) 団体戦(男女別) 2人チーム戦

5. 競技方法 競技は全てデュアルレーン方式にて行う。

- (1) 個人戦 前・後半戦各3ゲームの計6ゲーム合計スコアにて予選順位を決定し男女とも上位8名を決勝進出とする。決勝は予選のスコアを持ち越し決勝戦3ゲームを戦い、合計9ゲームトータルピンにて順位を決定する。
(2) 団体戦 個人戦予選のスコアを採用し、チーム2名の12ゲーム合計得点で順位を決定する。
なお、団体戦に出場する選手は自動的に個人戦にも出場とする。
※個人戦、団体戦にて合計スコアが同点の場合は別紙「本大会規定並びに競技上の注意事項」に従う。

6. 参加資格

- (1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の1,2学年に在学する生徒であること。
(2) 当該種目の全国高等学校総合体育大会要項に定める資格の該当者であること。
(3) 平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部の責任で調整・確認する)
(4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
ア. 部員不足に伴う合同チーム
(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
詳細は、全国高体連が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と全国専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
イ. 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る)
(6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の出場認知書を必要とする。
(7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により県高体連会長の認可があればその限りではない。
(8) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒としての品位を欠いた場合等には出場を取り消すことができる。
(9) 同一選手が2競技にまたがって出場することは原則として認めない。
(10) 学校感染症に罹患している生徒の大会への出場は認めない。
(11) 今大会における参加資格の特例
上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(8)の大会参加資格を満たし、かつ、大会参加資格の別途に定める規程に該当する生徒の大会参加を認める。
(12) (公財) JAPAN BOWLING に会員登録している選手で、①JB ワッペン、②マイシューズを持っていること。
※但し、やむを得ない事情により会員登録申請が未だの学校は競技委員長(専門委員長)に相談のうえ、専門部常任委員会にて特別の事情が認められた場合は「JB 会員登録」については配慮を検討する

7. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める該当校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。

8. 参加制限

個人の部: 各校男女とも最大16名の参加制限とし、団体戦参加者は個人戦にも出場とする。

団体の部: 男女とも選手2名で構成し個人戦出場者の中から代表2名を指定する。1校男女各1チームの出場制限とする。但し、部員多数の場合はオブザーバー参加として競技成績には関係なく団体強化戦として個人の部出場選手でチームを組み、別エリアでプレーを可能とする。オブザーバーチームは表彰の対象とはせずチーム得点と順位のみを掲示する。

9. 大会参加申し込み

- (1) 参加校は選手団を編成し、沖縄県高体連ホームページより所定の参加申込用紙をダウンロードする。
- (2) 必要事項を記入した「申し込み用紙」を1部作成し、学校長の決裁（公印）を受けPDF化する。
- (3) 当競技においては、上記の「PDF ファイル」と「申込みエクセルデータ原本」の両方を期日までにメールで申し込むこと。（ファイル名の例：加盟校番号△△、〇〇高校）
- (4) 申し込み先
ボウリング専門部委員長 小山正樹 宛（Mail : koyamams@open.ed.jp）
- (5) 申し込み締切
令和7年10月1日（水）12:00 必着（締切り時間後は受け付けない）

10. 大会参加費

参加申込生徒一人当たり 300 円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー、補助員は除く）を乗じた額とする。

11. 抽選会及び代表者会議 令和7年10月10日（金）15:00 美来工科高校視聴覚教室（各校職員1名のみ参加）

- ### 12. 表彰
- 優勝チームには賞状・メダルを、2～3位チームには賞状を授与する。
個人の部優勝者には賞状・メダルを、2～3位には賞状を授与する。
個人の部ハイゲームH/G・ハイシリーズH/Sには賞状・メダルを授与する。
（H/GとH/Sについては個人戦予選6ゲームを対象とする）

13. 連絡事項

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱う。
- (2) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わないこととする。
- (3) 参加選手は各学校名と選手名の入ったユニフォーム又はゼッケン、JBワッペンをつける。（JB服装規定を参照）
また、代表者会議にて配布する競技上の注意事項を厳守し、違反の場合は競技失格の裁定もあり得る。
- (4) 規定内のボールを使用し、参加選手の中から無作為に検査をする場合は協力をし、違反の場合は失格とする。
- (5) 参加選手は定められた時間内に受付を通過すること。受付終了時刻を過ぎた場合は失格とする。
- (6) 選手変更は所定の用紙に記入し受付終了時刻までに監督か引率者が専門委員長に直接提出し承認を受けること。
- (7) 開始式には全選手ユニフォームで参加すること。参加なき場合は放棄したものとみなし出場を認めない。
- (8) プレー費は予選1人 2,880 円とし決勝進出の際は 1,440 円を支払う。（1 G480 円×G 数） ※マイシューズを使用
- (9) 本大会の成績を今後の各種県外大会派遣推薦が必要な場合の参考資料とし、成績上位者を来年3月に開催予定の「第29回全国高等学校ボウリング選手権大会沖縄大会（春高ボウリング沖縄）」（2025/3/14～3/15、那覇市サラダボウルで開催予定）へ派遣推薦をする。（但し当専門部や県ボウリング連盟の強化事業や大会参加実績等も加味し専門部常任委員にて厳選なる選手選考を実施する）